



2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月30日

上場会社名 日本電気硝子株式会社 上場取引所 東
コード番号 5214 URL <https://www.neg.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 岸本 暁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森井 守 TEL 077-537-1700
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期第3四半期	232,458	0.2	16,079	△33.9	20,458	△15.1	9,680	△41.9
2025年12月期第3四半期	232,094	2.0	24,317	427.1	24,092	279.8	16,674	△45.8

（注）包括利益 2026年12月期第3四半期 17,294百万円（75.9％） 2025年12月期第3四半期 9,831百万円（△77.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	130.96	—
2025年12月期第3四半期	213.41	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期第3四半期	656,429	485,358	73.4
2025年12月期	701,413	496,181	70.2

（参考）自己資本 2026年12月期第3四半期 481,600百万円 2025年12月期 492,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	70.00	—	80.00	150.00
2026年12月期	—	80.00	—		
2026年12月期（予想）				80.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	300,000	△3.7	20,000	△41.4	25,000	△33.8	15,000	△49.4	202.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は2026年2月6日開催の取締役会の決議に基づき自己株式を取得しています。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、2026年9月30日までの自己株式の取得の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 3 Q	89, 523, 246株	2025年12月期	89, 523, 246株
② 期末自己株式数	2026年12月期 3 Q	17, 069, 363株	2025年12月期	14, 294, 939株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 3 Q	73, 918, 439株	2025年12月期 3 Q	78, 134, 131株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料 3 ページ 1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、本日当社ホームページ (URL <https://www.neg.co.jp/>) にて開示します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2026年1月1日～9月30日）においては、ディスプレイ事業及び電子デバイス事業の販売が増加したものの、複合材事業の構造改革に伴う欧米拠点の販売減少により、売上高は前年同期（2025年1月1日～9月30日）並みとなりました。営業利益は、ディスプレイ事業における費用の増加等により前年同期を下回りました。経常利益は、為替差益等を計上したものの、前年同期を下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、事業構造改善費用等を計上したことから、前年同期を下回りました。

(億円未満切捨て)

	前第3四半期連結累計期間 (2025/1～2025/9) (億円)	当第3四半期連結累計期間 (2026/1～2026/9) (億円)	増減 (%)
売上高	2,320	2,324	0
営業利益	243	160	△34
経常利益	240	204	△15
親会社株主に帰属する四半期純利益	166	96	△42

(製品別売上高)

(億円未満切捨て)

報告 セグメント	区分	前第3四半期連結累計期間 (2025/1～2025/9)		当第3四半期連結累計期間 (2026/1～2026/9)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報	1,271	55	1,334	57	62	5
	機能材料	1,049	45	990	43	△58	△6
合計		2,320	100	2,324	100	3	0

電子・情報：

ディスプレイ事業の売上高は、堅調な需要が継続したことから、前年同期を上回りました。電子デバイス事業の売上高は、データセンター向けを中心に情報通信用途が好調なほか自動車及び家電用途も堅調に推移したことから、前年同期を上回りました。

機能材料：

複合材事業の売上高は、構造改革に伴う欧米拠点の販売減少により、前年同期を下回りました。医療、耐熱及び建築事業の売上高は、前年同期並みでした。

(損益面)

中東情勢及び円安の影響により原燃料価格等が高騰したほか、ディスプレイ事業における全電気溶融設備への転換及び定期修繕に係る費用並びにマレーシア子会社での医療事業用ガラス製造設備の立ち上げに係る費用が増加したこと等から、営業利益は前年同期を下回りました。経常利益は、海外子会社の借入に係る債権債務の評価替えによる為替差益等を計上しましたが、営業利益が減少したことから、前年同期を下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益や投資有価証券売却益を特別利益等に計上した一方で、複合材事業の構造改革に伴う米国子会社の生産活動停止及び譲渡に係る事業構造改善費用等を特別損失に計上したことから、前年同期を下回りました。

(2) 財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して449億円減少し、6,564億円となりました。流動資産では、固定資産の取得、自己株式の取得や配当金の支払い等により、現金及び預金が減少しました。固定資産では、主にディスプレイ事業において設備投資を行った一方、減価償却が進んだほか複合材事業の構造改革に伴い減損損失を計上したこと等から、有形固定資産が減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して341億円減少し、1,710億円となりました。社債の償還や借入金の返済をしたこと等から、流動負債が減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して108億円減少し、4,853億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、自己株式の取得及び配当金の支払いをしました。また、主要な通貨において円安に振れたこと等から、為替換算調整勘定が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(2026年12月期通期連結業績予想)

(億円未満切捨て)

	通期 (2026/1～2026/12) (億円)
売上高	3,000
営業利益	200
経常利益	250
親会社株主に帰属する当期純利益	150

第4四半期連結会計期間（2026年10月1日～12月31日）においては、世界経済は、中東情勢を始めとして先行き不透明な状況が続くものと見込んでいます。

このような中、「電子・情報」分野においては、ディスプレイ事業は需要が軟調に推移する一方で、電子デバイス事業は半導体用途及び情報通信用途の販売が拡大すると見込んでいます。「機能材料」分野においては、複合材事業の売上高が米国子会社における事業構造改革に伴って大きく減少しますが、電子材料用低誘電ガラスファイバ向け製造設備の立ち上げを着実に進めてまいります。医療、耐熱及び建築事業は、安定した需要の継続を見込んでおり、新製品の拡販に取り組みます。損益面では、中東情勢及び円安の影響により原燃料価格等が高騰する見込みですが、各事業において販売価格の改定や生産性改善等の取り組みを進め、コスト増加による影響の抑制を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績及び上記の見通しを踏まえ、当社グループの通期連結業績予想については、前回予想（2026年7月31日）を据え置くことといたします。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制等の各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、為替相場や金利の大幅な変動等の金融情勢、急激な技術変化、感染症の流行等が含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,706	108,200
受取手形、売掛金及び契約資産	61,853	54,033
電子記録債権	1,029	1,035
商品及び製品	50,327	45,391
仕掛品	1,285	1,239
原材料及び貯蔵品	39,495	38,695
その他	9,275	8,980
貸倒引当金	△191	△168
流動資産合計	283,783	257,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,243	57,684
機械装置及び運搬具（純額）	262,394	258,274
その他（純額）	37,017	30,932
有形固定資産合計	360,655	346,891
無形固定資産	4,121	1,005
投資その他の資産		
その他	60,782	59,762
貸倒引当金	△7,928	△8,636
投資その他の資産合計	52,853	51,125
固定資産合計	417,630	399,023
資産合計	701,413	656,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,974	33,049
短期借入金	23,732	15,674
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	8,146	2,381
その他の引当金	74	62
その他	36,866	32,483
流動負債合計	117,793	83,651
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	53,662	52,802
特別修繕引当金	10,417	12,798
その他の引当金	3	—
退職給付に係る負債	1,787	1,838
その他	11,567	9,980
固定負債合計	87,437	87,419
負債合計	205,231	171,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	33,901	33,915
利益剰余金	398,474	396,241
自己株式	△48,068	△63,924
株主資本合計	416,463	398,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,865	18,632
繰延ヘッジ損益	20	44
為替換算調整勘定	58,022	64,533
その他の包括利益累計額合計	75,908	83,210
非支配株主持分	3,810	3,757
純資産合計	496,181	485,358
負債純資産合計	701,413	656,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
売上高	232,094	232,458
売上原価	174,114	180,202
売上総利益	57,979	52,256
販売費及び一般管理費	33,662	36,176
営業利益	24,317	16,079
営業外収益		
受取利息	638	642
受取配当金	689	1,012
為替差益	—	1,623
その他	2,981	2,949
営業外収益合計	4,309	6,227
営業外費用		
支払利息	891	906
休止固定資産減価償却費	328	469
為替差損	2,440	—
その他	873	472
営業外費用合計	4,534	1,848
経常利益	24,092	20,458
特別利益		
投資有価証券売却益	4,205	6,889
固定資産売却益	5,191	3,626
その他	62	3,465
特別利益合計	9,459	13,981
特別損失		
事業構造改善費用	3,571	15,752
事故関連損失	3,032	—
その他	694	1,410
特別損失合計	7,297	17,163
税金等調整前四半期純利益	26,254	17,276
法人税等	9,418	7,284
四半期純利益	16,835	9,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	160	311
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,674	9,680

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
四半期純利益	16,835	9,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△560	767
繰延ヘッジ損益	3	23
為替換算調整勘定	△6,280	6,287
持分法適用会社に対する持分相当額	△166	223
その他の包括利益合計	△7,004	7,302
四半期包括利益	9,831	17,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,670	16,982
非支配株主に係る四半期包括利益	160	311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
減価償却費	17,744百万円	20,526百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループ（当社及び連結子会社）のセグメントは、ガラス事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しています。